

山梨中央銀行からのお知らせ

2013

ミニディスクロージャー誌

第110期 営業のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

Yamanashi Chuo Bank

ごあいさつ

平素より山梨中央銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、明治10年に第十国立銀行として創業以来、地域密着と健全経営に徹し、地域社会の発展とともに成長し、今日の基盤を築いてまいりました。永年にわたります皆さまからの温かいご支援、ご愛顧に、心から感謝申し上げます。

さて、ここに平成25年3月期における当行の経営内容や業績等についてご報告申し上げます。

昨年12月の政権交代後は、デフレからの脱却を図るための各種経済政策が打ち出されました。それとともに、円安・株高が進行し、マインド面では先行きに対する明るさが見えてまいりました。しかし、一部を除き、実態としては景気低迷が続いており、また、経済社会構造が大きく変化するなか、金融機関の競合は一層激化しております。

このような経営環境のもと、当行では、本年4月、中期経営計画「ベストバンクプラン2016」(計画期間:平成25年4月～平成28年3月)をスタートさせました。本計画では、当行の経営ビジョン(あるべき姿)を「お客さまにご満足いただき、揺るぎない信頼を得られる銀行」といたしました。そして、経営ビジョンの実現に向けて、「トップライン収益の増強」、「強靱な経営体質の構築」、「CSRの推進」を基本方針に掲げ、各種戦略に取り組んでまいります。

また、戦略遂行のベースとして、CS(お客さま満足度)の向上と、それに不可欠なES(従業員満足度)の向上に力を注いでおります。このCS・ESの向上が当行の業績向上に結びつき、そのことがさらなるCS・ESの向上へとつながるといふ好循環を生み出すことで、当行の持続的成長を実現してまいります。

併せて、厳しい経済環境下、お客さまの事業活動の円滑な遂行や生活の安定のために、地域密着型金融や金融円滑化に向けた取組みをこれまで以上に強化してまいります。

今後とも、地域の皆さま、お客さま、株主・投資家の皆さまから信頼していただける健全な財務内容を堅持し、より質の高いサービスの提供に努めてまいりますので、引き続き、格別のご支援、お引き立てを心からお願い申し上げます。

平成25年6月



取締役頭取

進藤 中

経営理念

「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

当行の概要(平成25年3月31日現在)

創業	明治10年
創立	昭和16年12月1日
本店所在地	山梨県甲府市丸の内一丁目20番8号
電話番号	055-233-2111(代)
営業店舗数	本・支店88 出張所2 (山梨県内74、東京都内15、神奈川県内1)
その他拠点	法人営業所1 海外駐在員事務所1
資本金	154億円
総預金	2兆6,879億円
貸出金	1兆5,073億円
自己資本比率	16.22%(国内基準・速報値)
従業員数	1,708人

本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

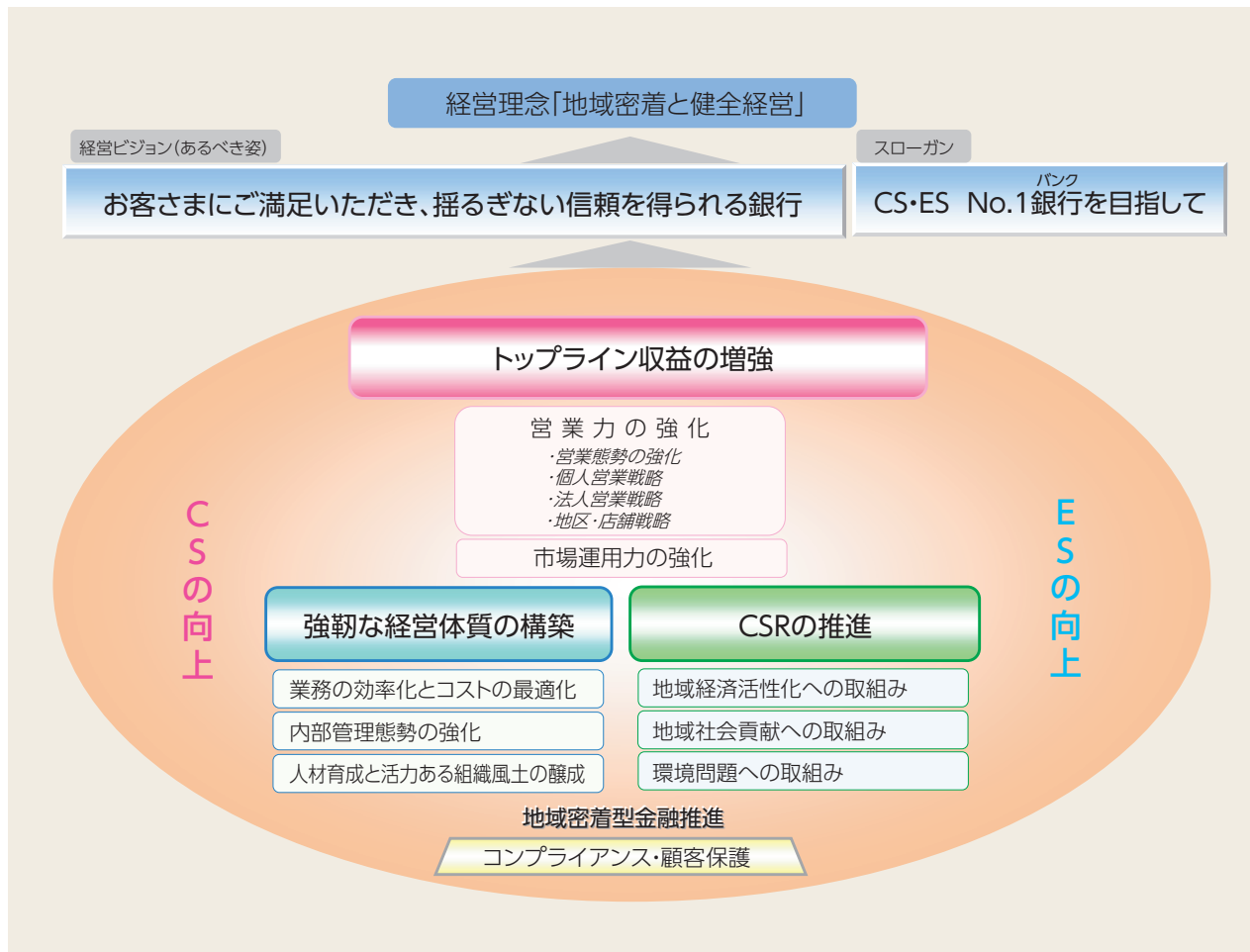
目次

ごあいさつ	1
中期経営計画「ベストバンクプラン 2016」	2
当期の業績	3
CSR(企業の社会的責任)への取組み	7
安心してご利用いただくために	22
財務諸表	23
さらに便利にご利用いただくために	25
店舗・キャッシュコーナーのご案内	26

表紙写真/本栖湖と富士山

ベストバンクプラン 2016

計画期間：平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月
(2013 年 4 月～ 2016 年 3 月)



定量目標

項目	業務粗利益	業務純益	OHR	自己資本比率	貸出金残高 (期中平均残高)	預金残高 (期中平均残高)
目標 (平成28年3月期)	410億円	120億円	70%以下	15%以上	1兆5,500億円	2兆8,000億円

ポイント

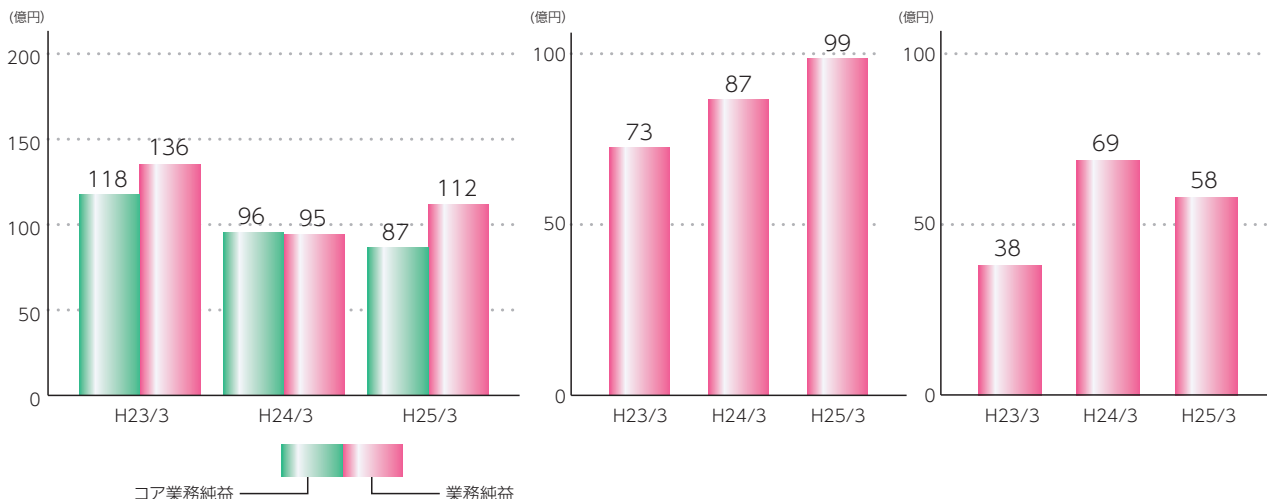
- コア業務純益は87億円となりました。
- 経常利益は99億円、当期純利益は58億円となりました。

当期純利益は、前期比10億円減少し、58億円となりました。

● コア業務純益・業務純益

● 経常利益

● 当期純利益



コア業務純益は、資金利益の減少などにより、前期比9億円減少の87億円となりました。
 業務純益は、国債等債券関係損益が増加したことから、前期比16億円増加の112億円となりました。
 経常利益は、経費の減少及び株式等関係損益の増加などにより、前期比11億円増加の99億円となりました。
 当期純利益は、特別損益が減少し、法人税等が増加したことにより、前期比10億円減少の58億円となりました。

用語
解説

業務純益は、銀行の本来的な業務に関する収益力を表しており、一般企業の「営業利益」にあたります。

【業務純益】＝「業務粗利益（資金利益＋役務取引等利益＋その他業務利益）」－「経費」－「一般貸倒引当金繰入額」

【資金利益】 預金・貸出金・有価証券利息などの収支

【役務取引等利益】 各種手数料の収支

【その他業務利益】 債券や外国為替売買などの収支

【一般貸倒引当金】 予想損失額を総体的あるいは将来のキャッシュフローにより見積もることに伴って生じる貸倒引当金

コア業務純益は、より実質的な銀行本来の業務による収益力を表しております。

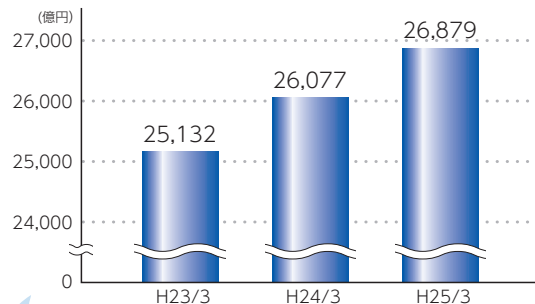
【コア業務純益】＝「業務純益」＋「一般貸倒引当金繰入額」－「国債等債券関係損益」

ポイント

- 総預金は、2兆6,879億円となりました。
- 貸出金は、1兆5,073億円となりました。

総預金、貸出金ともに
順調に増加しました。

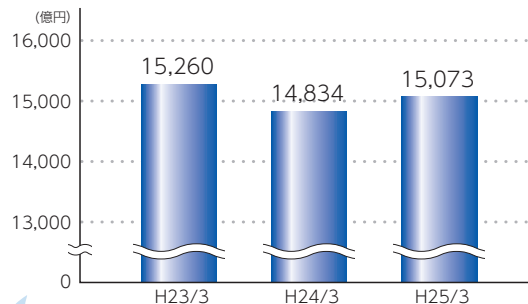
●総預金



多様化するお客さまの資産運用ニーズに迅速かつ適切にお応えすべく、商品やサービスの充実に努めてまいりました。この結果、譲渡性預金を含めた総預金の期末残高は、個人・法人預金等の増加を主因として、期中に802億円増加し、2兆6,879億円となりました。

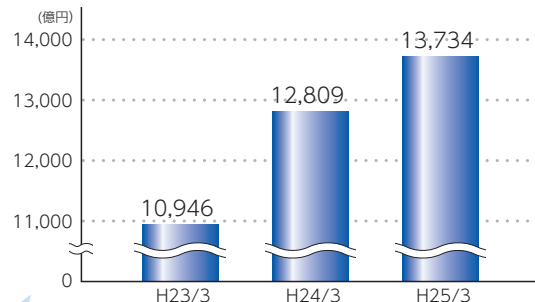
なお、国債及び投資信託の窓口販売残高の合計は、期中に102億円減少し、期末残高は2,016億円となりました。

●貸出金



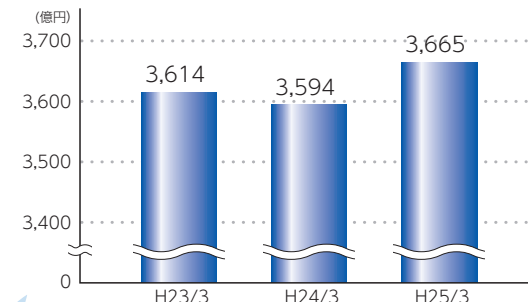
資金需要は総じて低調に推移いたしました。個人向けローンや中堅・中小企業向け融資の拡大に積極的に取り組むとともに、地方公共団体等からの資金需要にも積極的にお応えしてまいりました。この結果、個人向けローンや公共団体等向けの貸出金の増加を主因として、貸出金の期末残高は、期中に239億円増加し、1兆5,073億円となりました。

●有価証券



投資環境や市場動向を見極めながら国債を中心に効率的な運用に努めるとともに、地方債・政府保証債などの公共債の引受けを行いました。この結果、有価証券の期末残高は、期中に924億円増加し、1兆3,734億円となりました。

●住宅ローン



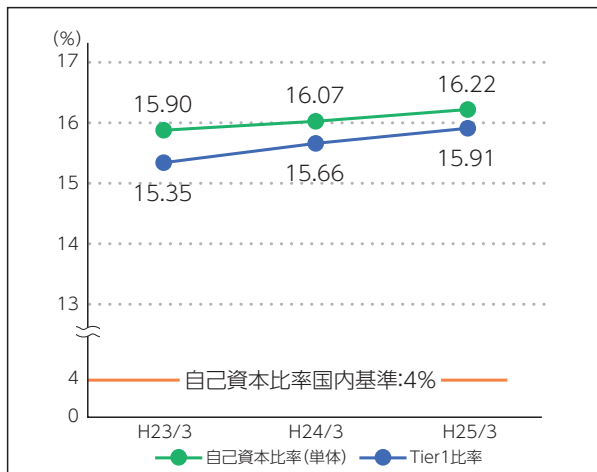
「金利プラン」の継続実施や「借り換え専用無担保住宅ローン」の金利引下げなど、お客さまのニーズに積極的にお応えしてまいりました。この結果、期中に70億円増加し、期末残高は3,665億円となりました。

ポイント

- 自己資本比率(単体、国内基準)は、16.22%となりました。
- 格付は、「A+」を堅持しております。

財務基盤は高い健全性・安全性を堅持しております。

自己資本比率



平成25年3月末の自己資本比率は16.22%となり、国内基準の4%を大きく上回っております。

このうち、Tier1比率は15.91%となりました。

なお、平成24年9月末時点では、地方銀行の自己資本比率の平均は11.70%、Tier1比率の平均は9.59%(国内基準適用55行)となっております。

用語
解説

【自己資本比率】

銀行が保有する資産に対する自己資本の割合で、経営の健全性・安全性を表す重要な指標です。

当行は海外に営業拠点をもたないため「国内基準」が適用され、自己資本比率が4%以上であることを義務づけられております。

【Tier1比率】

自己資本のうち質が高いとされている基本的項目であるTier1(資本金や法定準備金など)の、保有する資産に対する割合です。

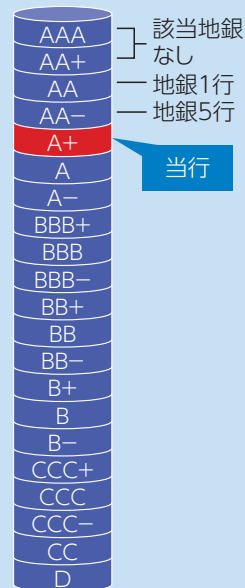
格付

(株)格付投資情報センター
(R&I)による
当行の格付

発行体格付
A+
(シングルAプラス)

平成14年3月の当初取得時以降、上記格付を堅持しております。

(株)格付投資情報センター
(R&I)



(平成25年4月30日現在)

用語
解説

【格付】

企業などが発行する債券や銀行預金の元金・利息の支払いの安全性を、第三者の格付機関が評価し、簡単な記号で表示したものです。

評価にあたっては、企業の経営方針、収益性、財務内容、営業基盤の経済状況などが総合的に判断されます。

ポイント

- 不良債権残高は530億円で、前期比9億円増加しました。
- 不良債権比率は3.49%で、前期比0.01ポイント上昇(悪化)しました。

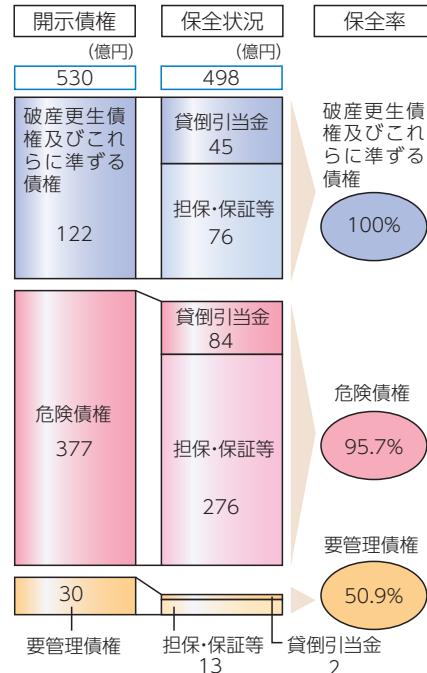
不良債権への備えは十分です。

不良債権と保全の状況

●金融機能再生緊急措置法に基づく資産査定結果の開示

(億円・%)

	平成24年3月末	平成25年3月末	
			平成24年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	119	122	2
危険債権	372	377	4
要管理債権	28	30	2
上記債権の合計(A)	520	530	9
正常債権	14,418	14,637	219
債権合計(B)	14,939	15,167	228
不良債権比率(A)/(B)	3.48	3.49	0.01



ご参考

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、部分直接償却を実施した場合の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」の合計額は493億円となります。

用語解説

(1) 【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権。

(2) 【危険債権】

お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

(3) 【要管理債権】

3カ月以上の延滞が発生している貸出債権及びお取引先の再建・支援を図って債権回収を促進することを目的に約定条件を緩和している貸出債権。

(4) 【正常債権】

財政状態・経営成績に特に問題がないものとして、上記の(1)から(3)に該当しない債権。

CSRメッセージ

「地域とともに 未来のために」

CSRの基本方針

当行は、これまで本来業務に基づく地域経済の活性化への取り組みはもちろんのこと、企業市民としての社会的責任を果たすべく、CSR活動に取り組んでまいりました。

本基本方針のもと、なお一層CSRへの取り組みを強化しております。

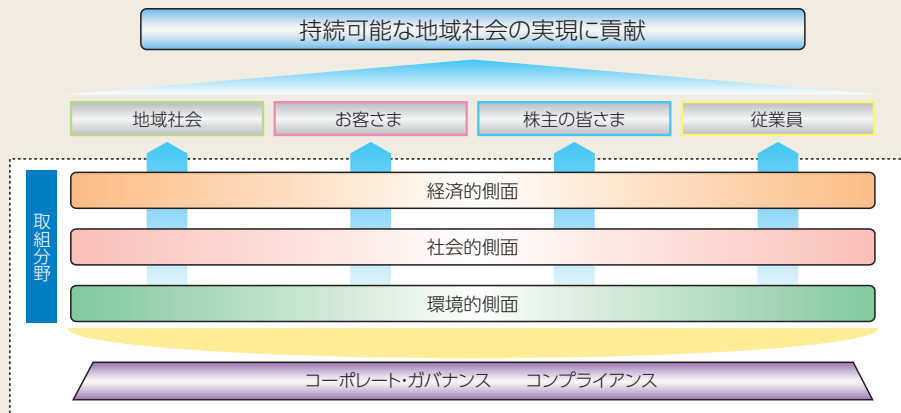
経営理念 ～ 地域密着と健全経営

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めることを経営理念とする。

【CSRの基本方針】

山梨中央銀行は、創業以来不変の経営理念「地域密着と健全経営」のもと、コンプライアンスを基盤としながら、地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等さまざまなステークホルダーの要請に応え、事業活動を通じて地域経済の発展に尽くすとともに、社会的側面・環境的側面を強く認識し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

CSR概念図



コンプライアンス(法令等遵守) 顧客保護

～CSR遂行の基盤として～

コンプライアンス(法令等遵守) 顧客保護への取組み

「コンプライアンス」とは、法令はもちろんのこと、社会規範(倫理)や企業倫理など、広い範囲にわたる社会のルールを厳格に遵守し、当行が企業市民として「社会からの要請・期待に応える」こと、すなわち、社会の変化に適切に対応し、お客さまの保護と利便の向上に取り組むことです。

当行は、「コンプライアンス」を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、お客さまとの信頼関係を維持し、一層強固なものとするため、「コンプライアンス委員会」を中心にコンプライアンス態勢の整備・強化に取り組んでおります。

また、当行では、銀行業務における判断基準として、コンプライアンス8原則(企業倫理)を役職員に徹底し、日々の業務にあたっております。

なお、当行では、社会的要請に応え、暴力団等反社会的勢力との関係遮断に向けた取組みを一層強化するため、各種契約書や取引規定に暴力団排除条項を導入しております。

コンプライアンス
8原則
(企業倫理)

1 信頼の確立

2 地域社会への
貢献3 法令およびルール
の厳格な遵守

4 透明な経営

5 職員の人権の
尊重6 環境問題への
取組み7 社会貢献活動へ
の取組み8 反社会的勢力と
の関係遮断

金融商品等の勧誘方針

当行では、普通預金、定期預金など元本が保証されている金融商品のほか、外貨預金や投資信託など元本割れの可能性がある金融商品も取扱っております。

このため、当行は、お客さまが商品について十分ご理解をいただいたうえでお申込みされるよう努めております。

お客さまが金融サービスを安心してご利用いただくために、当行の役職員は、次の事項を守り、お客さまになお一層ご満足いただけるよう努めてまいります。

- ① 私たちは、お客さまの金融商品に関する知識や経験の程度、投資の目的、資産の状況などに照らして、適切な商品を勧誘するよう努めます。
- ② 私たちは、金融商品のしくみや元本割れの可能性など重要な事項について説明し、お客さまの判断に役立つよう努めます。
- ③ 私たちは、お客さまにご迷惑をおかけしない時間帯や場所で勧誘を行います。
- ④ 私たちは、誠実・公正な勧誘を心がけ、断定的判断の提供等を行わず、誤解を招かない説明や情報提供に努めます。
- ⑤ 私たちは、お客さまに適切な勧誘が行えるよう、商品知識の習得に努めます。

地域密着型金融推進への取組み

地域密着型金融の推進は、当行にとって恒久的な課題であり、現在取り組んでおります中期経営計画「ベストバンクプラン 2016」(平成25年4月～平成28年3月)の各種施策を確実に展開していくことにより、地域密着型金融を推進してまいります。

当行は、これからも、引き続き地域経済・社会の発展、地域のお客さまへのサービスの向上に努め、地域密着型金融の推進に取り組んでまいります。

1. お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

2. 地域の面的再生への積極的な参画

3. 地域や利用者の皆さまに対する積極的な情報発信

金融円滑化への取組み

基本姿勢

当行は、「地域密着と健全経営」を経営理念とし、地域のお客さまへの円滑な資金供給や経営改善に向けた取組みの支援など、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでおります。こうしたなか、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」は、平成25年3月末をもって期限到来となりましたが、当行の金融円滑化に向けた基本的な取組方針に変更はございません。今後もなお一層、中小企業のお客さまおよび住宅資金をご利用のお客さまに対する金融円滑化に向けた取組みを強化してまいります。

金融円滑化への主な取組み

- 行内態勢の整備
 - 「金融円滑化推進委員会」を設置
 - 「金融円滑化に関する基本方針」を策定・公表
- お客さまの返済相談窓口の設置
 - 各営業店に「金融円滑化ご相談窓口」を設置
 - 毎週土曜日、ロースクエア甲府支店・富士吉田に「金融円滑化ご相談窓口」を設置
 - 「住宅ローン休日相談会」を開催
 - 「木曜なんでも相談会」を開催
 - 「金融円滑化苦情相談受付窓口」を設置
- 経営改善支援への取組み
 - 経営改善支援先、金融円滑化支援先ともに対象を拡大し、経営改善の取組みを強化

金融円滑化苦情相談受付窓口

お客さまからの返済条件の変更等に関する苦情相談についてお受けする専用窓口を、以下のとおり設置しております。

経営管理部 お客様サービス室

電話番号： 0120-365-556 (フリーダイヤル)
 受付時間： 月曜日～金曜日 9:00～17:00
 (ただし、祝日および12/31～1/3は除きます)

対応実績(平成21年12月4日～平成25年3月31日)

(単位：債権数、百万円)

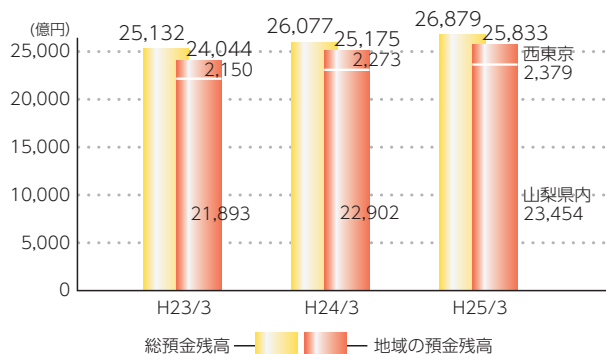
種 別	申 込 み		実 行		謝 絶		審 査 中		取 下 げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業のお客さま	8,689	248,305	8,085	237,573	121	2,315	119	3,048	364	5,368
住宅資金をご利用のお客さま	1,250	19,180	885	13,480	108	1,626	18	305	239	3,767

地域経済の活性化への取組み

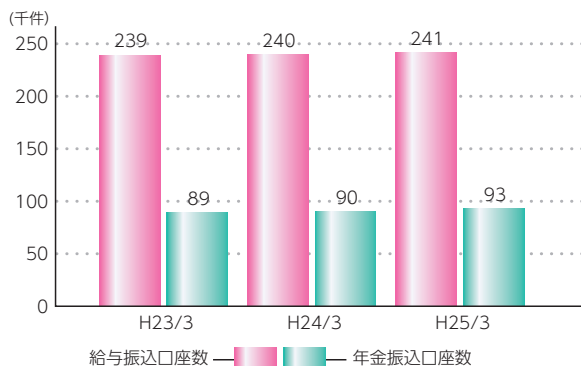
お客さまとのお取引の状況

地域の皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図るとともに、より高い利便性の提供に努めております。

●総預金残高・地域の預金残高の推移



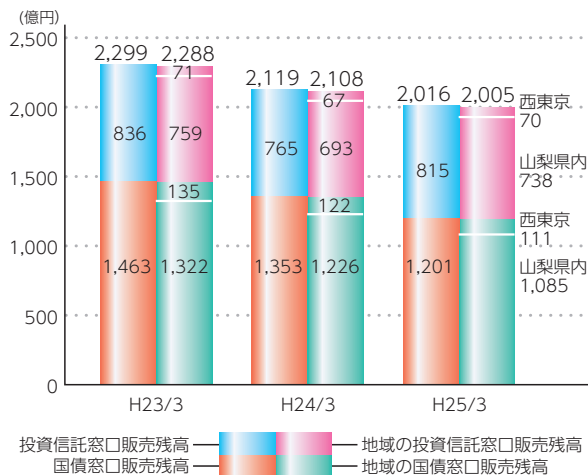
●給与振込・年金振込口座数の推移



ATM営業時間の拡大

韮崎支店、竜王支店などのキャッシュコーナー19か所につきまして、営業時間を拡大し、午後9時までといたしました。これにより、午後9時までご利用いただける当行キャッシュコーナー・ATMは、85か所となっております(平成25年5月10日現在)。

●投資信託・国債窓口販売残高、地域の投資信託・国債窓口販売残高の推移



※「地域の預金」、「地域の投資信託・国債窓口販売残高」とは、山梨県内および西東京地区の営業店舗における預金、投資信託・国債の窓口販売残高のことです。
・営業店舗の一覧は26ページに掲載しております。

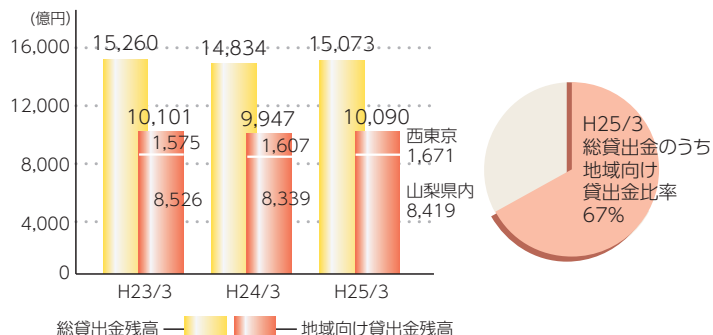
インターネット投信

ご自宅のパソコンで、投資信託のお取引やご投資状況をご確認いただける「山梨中銀ダイレクト<インターネット投信>」を取り扱っております。

●個人年金保険・一時払および平準払終身保険

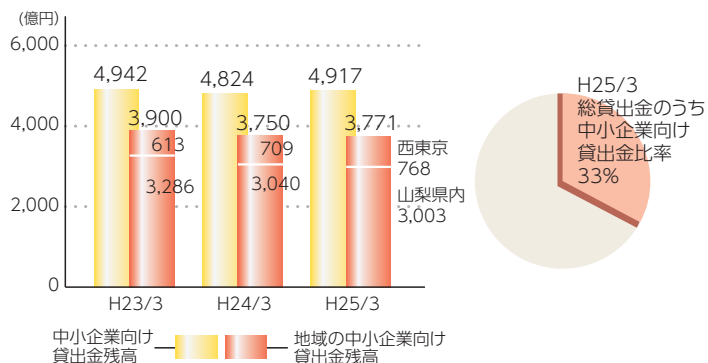
個人年金保険・一時払および平準払 終身保険販売額(平成24年4月~25年3月)	204億円
--	-------

●総貸出金残高・地域向け貸出金残高の推移



※H24/9にて基準の見直しを行い、H24/3、H23/3の数値も同基準にて修正を行いました。

●中小企業向け貸出金残高・地域の中小企業向け貸出金残高の推移



※H24/9にて基準の見直しを行い、H24/3、H23/3の数値も同基準にて修正を行いました。

●県内地方公共団体向け融資残高・地方債引受残高

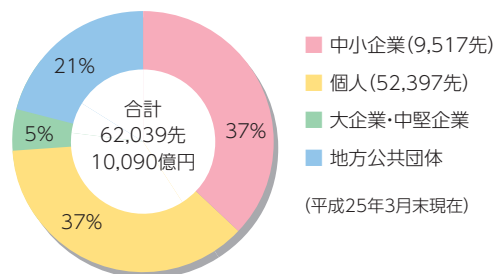


●指定金融機関の受託状況

(平成25年3月末現在)

	県	市	町	村	合計
県内の自治体数	1	13	8	6	28
当行が指定金融機関を受託している自治体数	1	13	7	3	24

●地域向け貸出金(残高)の内訳



※「地域向け貸出金」とは、山梨県内および西東京地区の営業店舗における貸出金のことです。

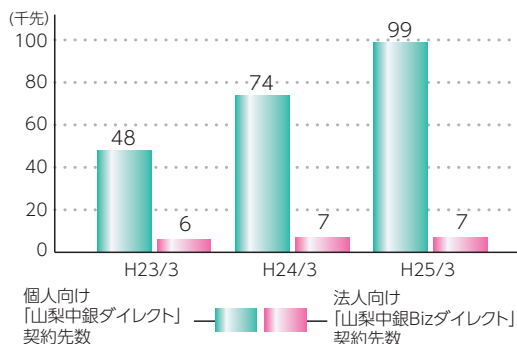
・営業店舗の一覧は26ページに掲載しております。

※「中小企業向け貸出金」とは、中小企業および個人事業主向けの貸出金のことです。

●確定拠出年金

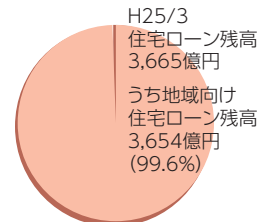
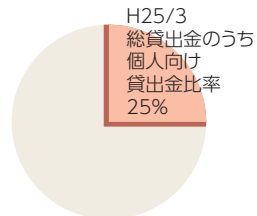
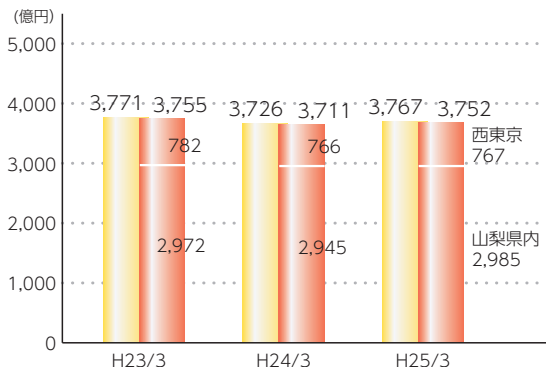
確定拠出年金加入者数(含む個人型) (平成25年3月末)	5,818人
企業型の導入企業	85社

●インターネット・モバイルバンキング契約先数



平成25年3月、お客さまの利便性向上を目的に、法人向けインターネットバンキング「山梨中銀Bizダイレクト」を全面リニューアルいたしました。

●個人向け貸出金残高・地域の個人向け貸出金残高の推移



※「個人向け貸出金」とは、個人向けの非事業性貸出金のことです。

個人向け貸出金残高 — 地域個人向け貸出金残高

地元企業の皆さまに対する経営支援および企業育成の取組み

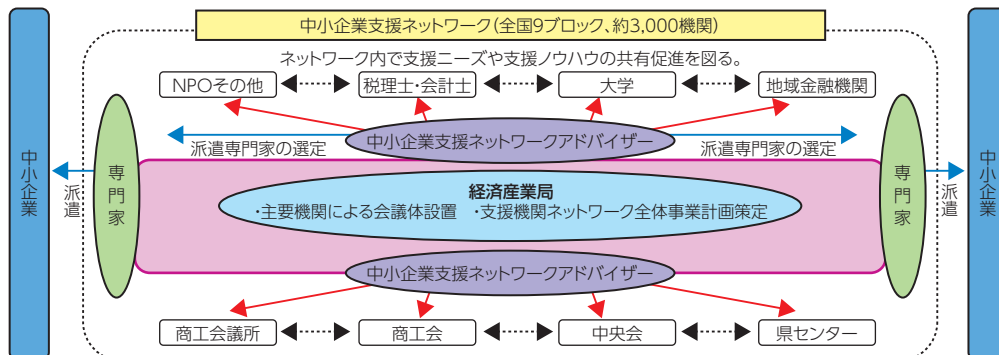
地域のリーディングバンクとしての機能・実践力を向上させ、地域連携の中核機関として地域の課題解決や地域振興に積極的に参画し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

中小企業支援ネットワーク強化事業への参加

当行は、平成23年4月から、経済産業省関東経済産業局が実施する「中小企業支援ネットワーク強化事業」に参加しております。

今後も、中小企業等のお客さまが抱える経営課題の解決を図るため、当行の「コーディネーター」が地域の支援機関や専門家等と連携し、さまざまな支援メニューをお客さまのニーズにあわせて組み合わせ、ソリューションをワンストップで提供してまいります。

「中小企業支援ネットワーク強化事業」のスキーム



創業・新規事業開拓、成長分野への支援

●山梨中銀創業支援ローン「ファインスタート」の取扱い

山梨県内で新たに起業されるお客さまに対する支援を通じ、地域経済活性化に寄与することを目的に、山梨中銀創業支援ローン「ファインスタート」を取り扱っております。

また、本ローンをご利用いただくお客さまに対しましては、県内の各支援団体と相互に協力し、創業に関しさまざまな角度から支援しております。

●山梨中銀「地域活力強化ファンド」の取扱い

医療・介護、環境、農業、観光、モノづくり等の成長分野や地域産業等への一層の支援を行うべく、「山梨中銀『地域活力強化ファンド』」を取り扱っております。当行では、地域の事業者の皆さまへの支援を一層強化し、地域経済の発展に貢献してまいります。

●アグリビジネス支援

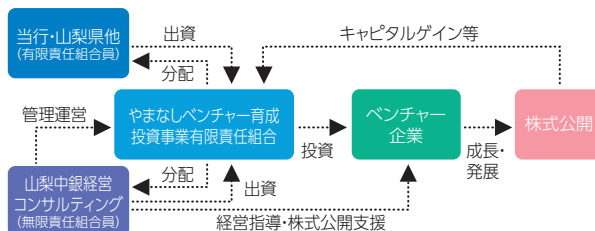
平成23年4月から、経営感覚と起業家精神をもってアグリビジネスに取り組まれる経営者の皆さまを支援していくため、「アグリビジネススクール」を開講しております。年間24回の講座では、財務、人材育成、流通、生産管理、マーケティング等のマネジメントのほか、フィールドワーク、視察などの課外講座も取り入れております。

当行では、本スクールをはじめとした農業分野への取組みを積極的に行い、地域経済の活性化に貢献してまいります。



●やまなしベンチャー育成投資事業有限責任組合の管理運営

官民共同出資のベンチャーファンドを設立し、山梨中銀経営コンサルティング(株)が管理運営を行っております。



●医療・介護事業支援

当行・グループ会社・外部機関が一体となった医療・介護分野のサポート体制を構築し、ご融資やリースなどの金融サポートだけでなく、開業、事業改善、新分野進出、事業承継などのあらゆるニーズに対して本部の医療・介護分野専門担当者による無料サポート・情報提供から、専門機関によるサポートまで、幅広く充実したメニューを提供しております。

海外ビジネス展開のサポート

提携先であるバンコック銀行(タイ)、交通銀行(中国)、バンクネガラインドネシア(インドネシア)や各支援機関との連携により、お客さまの海外進出、貿易取引(輸出入)などの海外へのビジネス展開に関するご相談にお応えしております。

コンサルティング

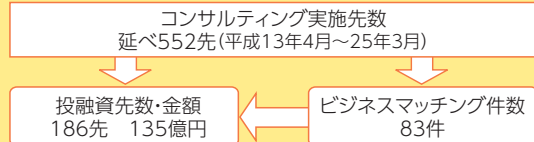
業務アドバイザーとの連携による成長支援

当行の“業務アドバイザー”が、販路拡大や技術・事業の将来性の評価などのコンサルティングを行います。

山梨中銀経営支援
コーディネートサービス
～オーダーメイドの経営支援～

702件
(平成18年1月～25年3月)

ISO等認証取得コンサルティング
～山梨中銀経営コンサルティング(株)には
「ISO9001審査員」が在籍～



●経営改善支援等の取組状況

(平成24年4月～25年3月)

正常先を除く期初債務者数 A	3,911先
うち経営改善支援取組み先 a	190先
うち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	8先
うち再生計画を策定した先数 c	140先
経営改善支援取組み率(a/A)	4.9%
ランクアップ率(b/a)	4.2%
再生計画策定率(c/a)	73.7%

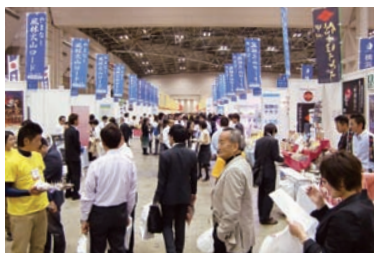
このほか、事業承継、農業参入、M&Aなど各種コンサルティングにより、お客さまへソリューション(課題解決策)を提供いたしております。

ビジネスマッチング

●各種商談会等の開催



やまなし食のマッチングフェア2012
(平成24年7月)



地方銀行フードセレクション2012
(平成24年10月)



やまなし食のビジネス情報連絡会
(平成25年3月)

これらの商談会等のほか、当行ネットワークを通じたお取引先情報の活用などにより、平成17年度以降、1,797件のビジネスマッチングが実現いたしました。

産学官+“金”連携による産業支援への取組み

●山梨大学との連携

当行では、国立大学法人山梨大学と包括的業務連携協定を締結し、山梨大学から民間企業への技術移転の橋渡しを努めるべく、当行行員100名(平成25年3月末現在)が「山梨大学客員社会連携コーディネータ」として活動しております。

技術移転の橋渡しのひとつとして、山梨大学に在籍する教授の研究内容をわかりやすく紹介する「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便!」を発行し、地域企業の皆さまに配布しております。



「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便!」の発行

●山梨県立大学との連携

当行では、山梨県立大学と地域振興に向けた業務連携に関する協定を締結し、相互の情報、専門的知識や経験等を有機的に連携させ、地域社会の発展と人材育成に寄与する取組みを展開しております。

●山梨学院大学・山梨学院短期大学との連携

当行では、山梨学院大学および山梨学院短期大学と包括的業務連携に関する協定を締結し、地域経済の活性化、地域振興につながる取組みを展開しております。

「やまなし食のマッチングフェア2012」では、山梨学院大学、山梨学院短期大学と連携し、出展企業のマーケティング活動支援や山梨県産食材を使用した特別メニューの展示・試食、出展者への栄養相談・メニュー等の提案を行いました。

また、山梨学院大学に在籍する教授等の研究内容を紹介する「山梨学院大学『経営ナビゲーション』」を発行し、ホームページ等で公開しております。



やまなし食のマッチングフェア2012における連携事業



「山梨学院大学『経営ナビゲーション』」の発行

このほか、産学官による各種連絡会や交流ネットワークへの参加、各種団体への出捐・職員派遣など「産学官+金」連携強化に取り組み、産業支援に注力しております。

地域活性化プロジェクト等地域づくりへの参画

●甲府市中心市街地活性化への参画

甲府市中心市街地活性化に取り組む甲府市を支援するため、具体的施策の構築や実践を支援する「甲府タウンレビューチーム」や「甲府市中心商店街再生協議会」の委員として、まちづくりに積極的に参画しております。

●関東・東海B-1グランプリへの協力

平成24年11月24日から25日まで、甲府駅周辺を会場として開催された「2012関東・東海B-1グランプリin甲府」に、118名の行員がボランティアスタッフとして参加し、イベントの開催をサポートいたしました。

●「リニア中央新幹線・中部横断自動車道活用推進PT」の活動

リニア中央新幹線は、2027年に東京・名古屋間開業、また、中部横断自動車道は、2017年に静岡県までの開通を目指し、整備が進められております。リニアは「人の移動」に、中部横断道は「物流」に大きな影響を与えることが予想されております。

当行では、「リニア中央新幹線・中部横断自動車道活用推進プロジェクトチーム」を設置し、リニア開業および中部横断道開通、さらには将来にわたるさまざまな地域社会の変化が地域や当行に与える影響について調査研究し、山梨県全体の活性化に当行として取り組むべき方策の検討を進めております。

地域社会貢献への取組み

企業市民として、教育支援、文化・芸術・スポーツの振興、福祉等さまざまな分野における地域社会貢献活動への取組みを充実させ、持続的なものとしていくことにより、地域社会の発展に貢献してまいります。これらの取組みを通して、行員の自信と誇りを育むとともに当行の企業価値向上につなげてまいります。

山梨中銀金融資料館



山梨中銀金融資料館では、当行をはじめとする県内金融史に関する文献や古代から現代に至る貨幣など貴重な資料を豊富に展示しております。

当行では、地域の将来を担う小・中学生に対する金融経済教育の一環として、山梨県内の小・中学校の校外学習を積極的に受け入れております。平成24年度は、32校・715名の児童・生徒の皆さんが来館されました。

また、平成24年度は「夏休み親子体験ツアー／金融資料館へ行って、お金の物知り博士になろう!」をはじめ企画展を4回開催いたしました。今後も各種イベントを随時開催してまいります。

なお、本年は山梨県で開催されている「第28回国民文化祭・やまなし2013」に協力しております。

開館日:日曜日～木曜日(祝日・12月29日～1月4日を除きます)
開館時間:9時～17時(入館は16時まで) 電話 055-223-3090

金融教育への取組み



小学校への出張授業



大学での金融講座



エコノミクス甲子園山梨大会

児童・生徒への金融教育の一環として、職場体験活動の受入れ、出張授業、県内大学での金融講座の開設などを実施しております。また、小学校低学年を対象とした「山梨中銀おかねの学校」や県内の高校生を対象とした金融経済に関するクイズ大会「エコノミクス甲子園山梨大会」を開催いたしました。

バレーボールを通じた地域スポーツ振興



創部以来、全国トップレベルの成績を収めている当女子バレーボール部では、県内バレーボールの普及・技術向上のための「ふれあいバレーボール教室」を年間約30回開催しております。その集大成として、「山梨中央銀行杯山梨県ママさんバレーボール大会」を毎年開催しております。また、小学生男子を対象に、バレーボールの普及を目的として「さわやかキッズバレーボール教室」を開催しております。

小瀬スポーツ公園陸上競技場のネーミングライツ取得



県民の皆さまのスポーツ振興や健康増進、ヴァンフォーレ甲府のさらなる飛躍への支援、ひいては地域社会の発展に貢献するため、小瀬スポーツ公園陸上競技場のネーミングライツ(命名権)を取得(期間:平成23年3月から平成28年2月までの5年間)し、愛称を「山梨中銀スタジアム」といたしました。

ロビー展の開催



本・支店のロビーを地域の皆さまの文化活動や作品発表の場としてご活用いただいております。

平成24年11月には、山梨県内21高等学校の生徒が制作した絵画・書道を展示した「わたしのプライド作品展2012～第5回やまなし全県高校生美術展～」を当行52か店で開催いたしました。

地域行事への参加



地域の皆さまとのふれあいをより深めていくため、地元で開催されるお祭りや地域活性化に向けた行事などに積極的に参加、協力しております。

障がいをお持ちのお客さまに配慮した取組み

ハンドセット方式ATMの全店設置

視覚に障がいをお持ちのお客さまやご高齢のお客さまが、ATMをスムーズにご利用いただけるようハンドセット方式(受話器式)ATMを、当行の本・支店全店に最低1台設置しております。

今後も、引き続きハンドセット方式ATMの設置を促進してまいります。



点字による取引明細表の発行

お客さまのご預金(普通預金、当座預金など)のお取引内容について、点字による明細表の発行を行っております。

明細表の郵送の際には、封筒にお客さまのお名前と「山梨中央銀行」の文字を点字表示したシールを貼付いたします。



音声誘導システムの設置

視覚に障がいをお持ちのお客さまが携行されている「発信機」に反応して音声案内を行う装置を、下飯田支店、駅ビル出張所(エクリン)および甲府駅北口出張所に設置しております。

本システムの設置は、県内に本店を置く金融機関では初めてです。



ふれあいアシスト制度

身体に障がいをお持ちのお客さまが、当行窓口をスムーズにご利用いただけるよう、お電話によるご来店予約を承っております。

ご来店に先立ち、お電話により必要書類やお手続き方法等をご案内させていただきますので、ご来店の際にはスムーズにお手続きいただけます。

サービス・ケア・アテンダントの配置

ご高齢の方や身体の不自由な方をはじめ、あらゆるお客さまへの配慮・心配りなど、ユニバーサルサービスを実践できる人材として、「社団法人 公開経営指導協会」が認定する資格である「サービス・ケア・アテンダント」の取得を進めており、本資格取得者を全店に配置する方針で取り組んでおります。

環境問題への取組み

「環境方針」の制定

地球温暖化をはじめとした環境問題が深刻化するなか、当行では、地域に根ざした企業として環境問題に積極的に取り組み、持続可能な地域社会づくりに貢献していくことが重要であると考えております。

当行では、本環境方針のもと、これまで以上に積極的かつ継続的に環境保全活動を推進してまいります。

山梨中央銀行 環境方針

山梨中央銀行は、国内有数の豊かな自然環境に恵まれた地域を営業基盤とする地方銀行として、環境問題への取組みをCSR(企業の社会的責任)の根幹と位置づけ、環境に関する法律等を遵守するとともに、企業活動が環境に与える影響を的確に把握し、積極的かつ継続的に環境保全活動に取り組みます。

1. 金融機関としての企業活動と環境との調和に向け、省資源・省エネルギーの推進による環境負荷低減に努めます。
2. 金融商品・サービス・情報などの提供を通じて、地域社会の環境改善への貢献に努めます。
3. 役職員一人ひとりが環境問題に関する認識を深め、地域社会の環境保全活動に積極的に取り組みます。

環境問題に対しましては、「環境ビジネスへの取組み」、「当行自らの環境負荷低減への取組み」、「地域社会との連携による環境保全活動への取組み」の3分野に取り組んでまいります。

環境ビジネスへの取組み

「グリーン世銀債ファンド」の取扱い

新興国における「地球温暖化防止プロジェクト」のために、世界銀行が発行する「グリーンボンド」を主な投資対象とした環境ファンドです。お客さまにも間接的に地球温暖化防止にご協力いただけます。



環境配慮型住宅向け金利プランの取扱い

「太陽光発電システム設置住宅」や「オール電化対応住宅」、「長期優良住宅」、「山梨県産材利用住宅」など、一定条件を満たした住宅資金につきまして、住宅ローン金利の引下げを行っております。



「山梨中銀ソーラーローン」の取扱い

住宅用太陽光発電システムの設置資金に対応する「山梨中銀ソーラーローン」を取り扱っております。



マイカーローン「エコカー向けプラン」の取扱い

ハイブリッド車等低公害車のご購入資金につきまして、マイカーローンの通常金利から年0.5%金利を引き下げる「エコカー向けプラン」を取り扱っております。



太陽光発電システム設置工事に関するリフォームローンの金利引下げ

住宅用太陽光発電システム設置工事を含むリフォーム資金につきまして、リフォームローン金利の引下げを行っております。



ビジネスサポートローン「環境配慮口」の取扱い

ISO14001やエコアクション21など、環境に関する認証を取得されている事業所向けのローン商品を取り扱っております。

※各種ローンのお申込みにあたっては、当行所定の審査がございます。審査の結果、ご希望にそえない場合がございますので、予めご了承ください。

当行自らの環境負荷低減への取組み

太陽光発電システムの設置

CO₂排出量削減への取組みとして、太陽光発電システムを明見支店および小笠原支店に設置しております。



ノベルティグッズにおける「環境配慮型商品の購入」

当行で採用するノベルティグッズ(お客さまへの贈答品)につきましては、天然素材や製造時に発生するCO₂排出量を相殺した商品など、環境に配慮した商品の購入を実践しております。

チャレンジ25キャンペーンへの参加

当行グループでは、「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、節水・節電・フールビズ等に取り組み、CO₂の排出削減に努めております。

未来が変わる。日本が変わる。

山梨中央銀行グループはチャレンジ25キャンペーンに参加しています



使用済み制服のリサイクル

使用済みとなった制服については、断熱材等の繊維二次製品として還元するリサイクル処理を行っております。

地域社会との連携による環境保全活動への取り組み

環境保全活動の実施

当行では、人と自然が調和した里地里山の保全を推進し、後生に引き継ぐ活動を行っております。平成23年8月からは、山梨県や中央市が進める農業の担い手事業や森づくり事業に賛同し、耕作放棄地の再生とこれに続く荒廃した森林の整備、植樹活動に取り組んでおります。なお、活動を行う里地里山の愛称を「山梨中銀ふれあいの里山」と命名いたしました。これまでに、延べ693名が参加いたしました。



富士山の清掃活動に参加

公益財団法人富士山をきれいにする会などでは、富士山の世界文化遺産登録に向けた機運を高めるとともに、美しい富士山を後世にいつまでも残していくという考えを広く普及啓発するため、平成24年8月11日に「世界遺産登録に向けた富士山クリーン大作戦」を実施いたしました。当行グループでは、役職員と家族275名が参加し、富士山5合目周辺や河口湖周辺の清掃を行いました。



やまなしクリーンキャンペーンおよびエコドライブ運動への参加

当行では、山梨県が推進する環境美化活動「やまなしクリーンキャンペーン」および「エコドライブ」運動に参加して、店舗周辺の道路・公園等公共の場の清掃活動や、環境に配慮した運転を行うなど、全行を挙げて環境美化・環境保全活動を展開しております。「平成24年度やまなしクリーンキャンペーン」では、延べ3,851名が参加し、延べ1,128か所の清掃を行いました。「エコドライブ」運動には、433台の所有車両および2,422名の職員が参加いたしました。



日本の森を守る地方銀行有志の会への参加

当行は、各地方銀行の森づくり活動の情報をネットワーク化し、日本の森を守る活動を支援していくことを目的とした「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加しております。

会員各行との情報交換を通して得た情報やノウハウを活かして、森づくりや自然環境保護に貢献してまいります。

偽造・盗難カードによる被害防止への対策

お客さまの大切なご預金をお守りするため、偽造が困難な生体認証機能付ICキャッシュカードを取り扱っております。

このほかにも、下記のとおり、さまざまな取組みを行っております。

これからも、さらにお客さまに安心してお取引いただけるよう、一層のセキュリティ強化に努めてまいります。



●主な取組み

(1) 生体認証機能付ICキャッシュカード

偽造・盗難カードによる被害防止のため、生体認証機能付ICキャッシュカードを推奨しております。

(2) 暗証番号に関するセキュリティ強化

- ① ATMでの暗証番号変更サービス
- ② カード暗証番号の誤入力回数制限
- ③ 類推されやすい暗証番号の登録・変更時の受付制限
- ④ ATMの暗証番号入力キーのスクランブル表示
- ⑤ ATM取引覗き見防止の「つい立て(仕切り)」の設置
- ⑥ ATM取引画面の覗き見防止フィルムの貼付
- ⑦ ATMの後方確認ミラー装着

(3) ご利用可能額に関するセキュリティ強化

- ① キャッシュカード等における「ATM1日あたりのご利用可能額」の設定
- ② ATM、窓口での「ATM1日あたりのご利用可能額」変更サービス

(4) その他のセキュリティ強化

異常な引き出しを検知するシステムの導入を図り、セキュリティを強化しております。

(5) 偽造・盗難キャッシュカード等による被害補償

お客さまが被害に遭われた場合の被害補償を実施しております。

●ATM1日あたりのご利用可能額

キャッシュカードの偽造・盗難による犯罪を防止し、お客さまの大切なご預金をお守りするために、当行キャッシュカードにおける「ATM1日あたりのご利用可能額」を、下表のとおりとさせていただきます。

お取引の内容	生体認証取引 (手のひら静脈)	IC取引	磁気スライプ 取引
現金のお引き出し	500万円	100万円	50万円
	上記金額の範囲内で変更可能		
お振込 お振替	1,000万円	200万円	200万円
	上記金額の範囲内で変更可能		

「振り込め詐欺」などの被害防止への対策

「振り込め詐欺」、「還付金詐欺」などの被害防止のため、以下の取組みを行っております。

- キャッシュコーナーでの携帯電話のご使用はご遠慮いただいております。
- ATMでお振込操作をされる際、「振り込め詐欺注意喚起画面」を表示しております。
- 一部の店舗外キャッシュコーナーに、「携帯電話感受装置」を設置しております。

◎「振り込め詐欺被害者相談窓口」の設置

振り込め詐欺等の犯罪被害資金を、当行の口座に振り込まれたお客さまからのご照会、ご相談のための窓口として「振り込め詐欺被害者相談窓口」を設置しております。ご照会、ご相談の際には、下記の「振り込め詐欺被害者相談窓口」までご連絡ください。

なお、当行のお客さまで、他金融機関にお振込になり被害に遭われた場合でも、お近くの当行本・支店の窓口にご相談ください。

山梨中央銀行本店内
振り込め詐欺被害者相談窓口

電話番号：055-233-2111(大代表)
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00 (ただし、祝日・12/31～1/3は除きます)

●連結貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	98,997
コールローン及び買入手形	15,902
買入金銭債権	10,796
商品有価証券	24
金銭の信託	311
有価証券	1,370,563
貸出金	1,499,875
外国為替	1,121
その他資産	15,043
有形固定資産	24,785
無形固定資産	5,870
繰延税金資産	468
支払承諾見返	5,925
貸倒引当金	△20,768
資産の部合計	3,028,916

(単位:百万円)

科目	金額
(負債の部)	
預金	2,546,917
譲渡性預金	133,794
コールマネー及び売渡手形	752
借入金	105,826
外国為替	108
その他負債	20,431
役員賞与引当金	45
退職給付引当金	7,680
役員退職慰労引当金	12
睡眠預金払戻損失引当金	275
偶発損失引当金	279
繰延税金負債	13,244
支払承諾	5,925
負債の部合計	2,835,296
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	15,400
資本剰余金	8,287
利益剰余金	132,330
自己株式	△1,566
株主資本合計	154,451
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	37,789
その他の包括利益累計額合計	37,789
新株予約権	71
少数株主持分	1,308
純資産の部合計	193,620
負債及び純資産の部合計	3,028,916

●連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	50,470
資金運用収益	34,456
(うち貸出金利息)	(22,259)
(うち有価証券利息配当金)	(12,041)
役員取引等収益	7,445
その他業務収益	7,251
その他経常収益	1,317
経常費用	39,557
資金調達費用	1,765
(うち預金利息)	(1,564)
役員取引等費用	1,817
その他業務費用	4,999
営業経費	29,779
その他経常費用	1,195
経常利益	10,912
特別利益	43
特別損失	674
税金等調整前当期純利益	10,281
法人税、住民税及び事業税	3,439
法人税等調整額	242
法人税等合計	3,681
少数株主損益調整前当期純利益	6,599
少数株主利益	237
当期純利益	6,362

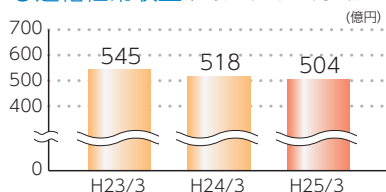
●グループ会社(連結子会社)

(平成25年3月末現在)

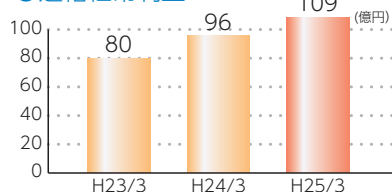
会社名	業務内容
山梨中央保証(株)	信用保証業務等
山梨中銀リース(株)	リース業務等

会社名	業務内容
山梨中銀ディーシーカード(株)	クレジットカード業務等
山梨中銀経営コンサルティング(株)	コンサルティング業務、経済調査業務等

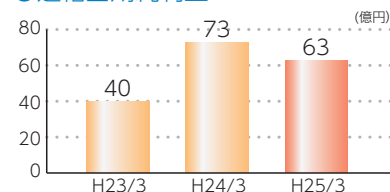
●連結経常収益 (一般企業の売上高に相当します)



●連結経常利益



●連結当期純利益



便利なチャネル・サービス

山梨中銀ダイレクトマーケティングセンター(フリーダイヤル)	各種個人ローン、資産運用、年金などに関するご相談を承っております。	平日：9時～17時(※1)	ふれあいハローに ☎0120-201862 (照会コード:9)
ローンスクエアリバーシティ(オギノリバーシティ1階西口)	住宅ローンを中心とした各種個人ローンのご相談・お申込みを承っております。	平日(水曜日を除く)：10時～18時 土・日：10時～18時(※2)	055-274-6133
ローンスクエア甲府支店(昭和町清水新居)		平日：9時～19時 土・日：9時～17時(※1)	055-223-8081
ローンスクエア甲府東(和戸支店2階)		平日：9時～19時 土曜日：9時～17時(※1)	055-235-2180
ローンスクエア富士吉田(竜ヶ丘支店内)		平日：9時～17時 土曜日：9時～17時(※1)	0555-24-3441
ローンスクエア八王子(八王子支店仮店舗2階)		平日(水曜日を除く)：9時～15時 土曜日：9時～16時(※1)	042-661-3369
ローンスクエア立川(立川支店2階)			042-536-0893
住宅ローンなんでも相談会		甲府市・富士吉田市・昭和町内の住宅展示場にて、住宅ローンに関する休日相談会を開催しております。開催日時・場所は、当行ホームページにて、随時ご案内いたします。	
メールオーダーサービス	各種個人ローンやサービス、預金口座開設などを郵便でお申込みいただけます。所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてご郵送ください。		
山梨中銀ダイレクト(個人のお客さま向けインターネットバンキング・インターネット投信)	インターネットで、取引照会、振込・振替、投資信託の購入・解約などのお取引がご利用いただけます。		
山梨中銀Bizダイレクト(法人・個人事業主のお客さま向けインターネットバンキングサービス)	お客さまのパソコンからインターネットに接続し、入出金明細・預金残高などのご照会、当行本・支店や他金融機関への資金移動、税金・各種料金の払込みなどを行うことのできるサービスです。		
山梨中銀でんさいサービス	「でんさいネット」が取り扱う電子記録債権の発生・譲渡・支払等の各種記録および資金決済を行うサービスです。		
山梨中銀外為Web(法人・個人事業主のお客さま向け外為インターネット受付サービス)	お客さまのパソコンからインターネットに接続し、外国送金、輸入信用状開設・変更をお申込みいただけるサービスです。		

(※1) 祝日、12月31日～1月3日は休業いたします。(※2) 祝日、12月31日～1月3日、オギノリバーシティ定休日は休業いたします。

ローンスクエアリバーシティの開設

平成24年8月11日、「ローンスクエアリバーシティ」をオギノリバーシティショッピングセンター1階西口に開設いたしました。専門スタッフが各種個人ローンのご相談・お申込みを承っており、平日だけでなく、土曜日・日曜日も午後6時まで営業しております。

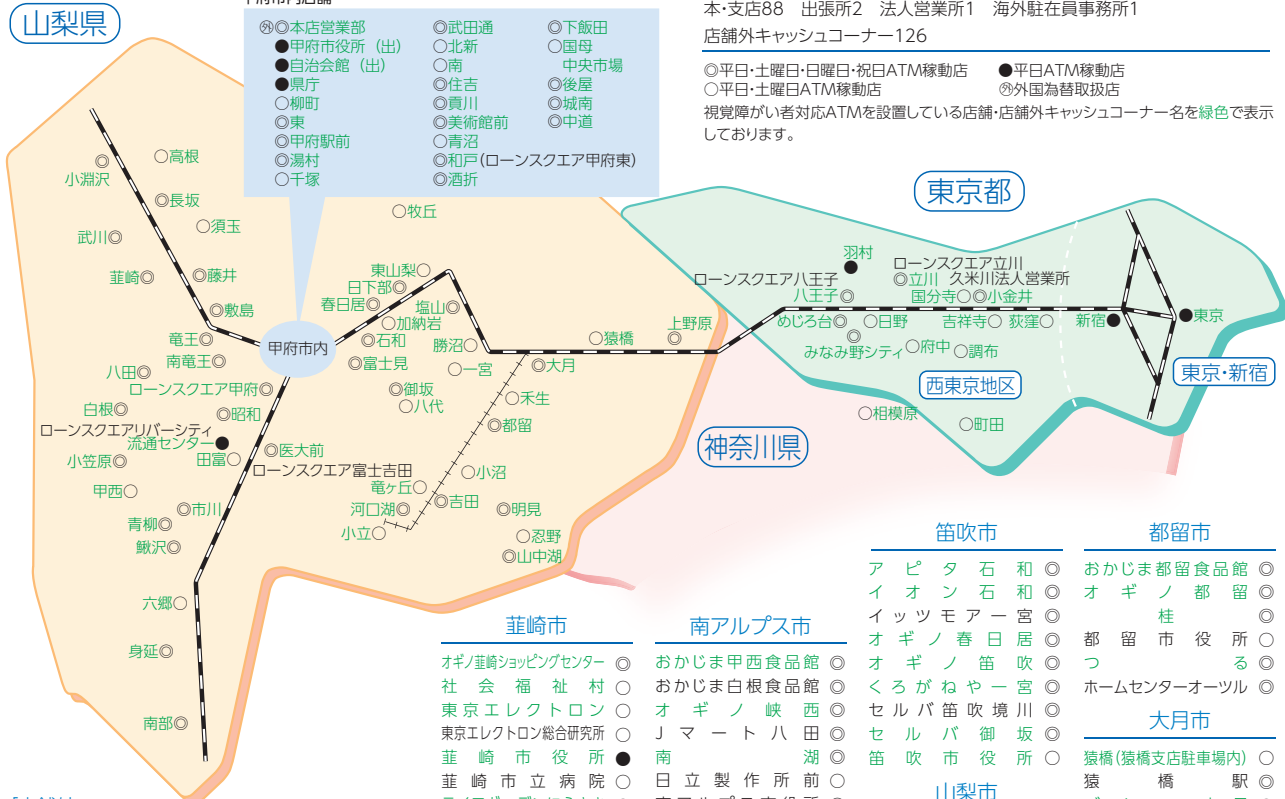
通常の銀行営業時間にご来店いただけないお客さまにもご利用いただける相談窓口として、一層のサービス向上に努めてまいります。

所在地	中央市山之神1122 オギノリバーシティショッピングセンター1階西口
電話	055-274-6133
取扱業務	住宅ローンを中心とした各種個人ローンのご相談・お申込みの受付業務

(平成25年5月10日現在)

本・支店88 出張所2 法人営業所1 海外駐在員事務所1
店舗外キャッシュコーナー126

◎平日・土曜日・日曜日・祝日ATM稼働店 ●平日ATM稼働店
○平日・土曜日ATM稼働店 ◎外国為替取扱店
視覚障がい者対応ATMを設置している店舗・店舗外キャッシュコーナー名を緑色で表示しております。



甲府市内店舗

- ◎本店営業部
- 甲府市役所 (出)
- 自治会館 (出)
- ◎県庁
- 柳町
- ◎東
- ◎甲府駅前
- ◎湯村
- 千塚
- 武田通
- 北新
- 南
- ◎住吉
- ◎貫川
- ◎美術館前
- ◎青沼
- ◎和戸(ロウンスクエア甲府東)
- ◎酒折
- 下飯田
- 国母
- 中央市場
- ◎後屋
- ◎城南
- ◎中道

【店舗外
キャッシュコーナー】

甲府市

- アイメッセ山梨
- いちやまマート徳行
- イッツモア塩部
- イッツモア増坪
- 駅ビル
- 太田町
- 岡島
- オギノ朝日
- オギノイストモール
- オギノ伊勢店
- オギノ後屋
- オギノ貫川
- オギノ国母
- オギノ城東
- オギノ満村ショッピングセンター
- くらがねや住吉
- 県庁本館
- 県立中央病院

- 甲府駅北口
- 甲府市役所本庁舎
- 国際交流センター
- 国立甲府病院
- 寿
- 市立甲府病院
- 山交百貨店
- 山梨学院大学
- 山梨大学
- 山梨文化会館
- 山

北杜市

- 清里バスセンター
- きららシティ
- 北杜市役所
- 北杜市役所明野総合支所
- 北杜市役所大泉総合支所
- 北杜市役所須玉総合支所
- 北杜市役所白州総合支所

韮崎市

- オギノショッピングセンター
- 社会福祉村
- 東京エレクトロン
- 東京エレクトロン総合研究所
- Jマート八田
- 南
- 日立製作所前
- 南アルプス市役所
- 南アルプスBIGステージ
- 若

甲斐市

- イッツモア双葉
- オギノ敷島
- オギノ西八幡
- 甲斐市役所
- 甲斐市役所敷島庁舎
- 響が丘
- 双葉
- ラザウォーク甲斐双葉
- ルネサスエレクトロニクス甲府事業所

中巨摩郡

- イオンモール甲府昭和
- イトーヨーカドー甲府昭和
- カインズホームFC町島甲府昭和
- 昭和ショッピングモールJOY
- 昭和町役場

南アルプス市

- おかじま甲西食品館
- おかじま白根食品館
- オギノ峡西
- Jマート八田
- 南
- 日立製作所前
- 南アルプス市役所
- 南アルプスBIGステージ
- 若

中央市

- アビタ田富
- イッツモア玉穂
- オギノ田富
- オギノリバーシティ
- 山梨大学医学部附属病院

西八代郡

- セルバ市川三郷

南巨摩郡

- セルバみのぶ
- 南部町役場
- 南部町役場南部分庁舎
- 富士川町役場
- 南アルプス邑プラザ
- 身延山
- 身延町役場

笛吹市

- アピタ石和
- イオン石和
- イッツモア一宮
- オギノ春日居
- オギノ笛吹
- くらがねや一宮
- セルバ笛吹境川
- セルバ御坂
- 笛吹市役所

山梨市

- オギノ山梨ショッピングセンター
- 加納岩病院
- 山梨厚生病院
- 山梨市役所
- フーズマーケットおかじま7日市場

甲州市

- いちやまマート塩山
- 塩山市民病院
- オギノ甲州

富士吉田市

- 新屋
- 大明見
- オギノ富士吉田
- 金鳥居
- 富士山駅
- 富士吉田合同庁舎
- 富士吉田市役所
- 富士吉田市立病院
- 本町通り

都留市

- おかじま都留食品館
- オギノ都留
- 桂
- 都留市役所
- つる
- ホームセンターオーツル

大月市

- 猿橋(猿橋支店駐車場内)
- 猿橋駅
- ダイエー大月
- 初狩駅

南都留郡

- イッツモア赤坂
- オギノ河口湖
- 河口湖ショッピングセンター
- フロレストモール富士河口湖
- 山梨赤十字病院

上野原市

- 上野原市役所
- オギノ上野原
- コモアしおつ
- 帝京科学大学

東京都

- 村山

金融犯罪に遭わないために

キャッシュカード・暗証番号等のお取扱いにご注意ください。

運転免許証等とともにキャッシュカードが盗まれ、生年月日等から暗証番号が類推され、大切なご預金が引き出されてしまう被害が全国的に発生しております。

○キャッシュカードの暗証番号のお取扱い

- ・「生年月日」「電話番号」「住所の番地」「車のナンバー」など、他人に類推されやすい番号を暗証番号としているお客さまは、暗証番号の変更をお願いいたします。
- ・暗証番号の変更は、当行のATMで簡単にいえますので、定期的に変更することをお勧めいたします。
- ・貴重品ボックスなどを利用する際は、キャッシュカードの暗証番号と同一の暗証番号の使用を避けてください。
- ・キャッシュカードの暗証番号を銀行から問い合わせることは絶対にありません。他人に知られないようご注意ください。

○キャッシュカード・通帳・印鑑のお取扱い

- ・キャッシュカード・通帳・印鑑の入った財布やバッグを車内などに放置しないでください。
- ・ご自宅でも、通帳と印鑑は別々に保管することをお勧めいたします。
- ・通帳の表紙裏面にお届印が登録されている場合、印鑑の偽造による被害防止のため、登録印シールの取り外しをお願いいたします。

〈キャッシュカード等の紛失・盗難時のご連絡先〉

キャッシュカード・通帳・印鑑の紛失・盗難時には、直ちに当行にご連絡ください。

曜日	時間帯	連絡先
平日	8:45～17:10	当行本支店
	終日(24時間)	当行ATMサービスセンター 0120-121-070
土・日・祝日		

当行の「偽造・盗難カードによる被害防止への対策」につきましては、22ページに掲載しております。

「振り込め詐欺」「還付金詐欺」「架空請求」にご注意ください。

ご家族等を装い電話や文書で金銭の振込を要求する「振り込め詐欺」、税務署等を装った「還付金詐欺」、および「架空請求」による被害が多発しています。

- ・お振込をする前に、もう一度ご家族等に確認してください。
- ・公的機関(税務署、警察署、市町村役場、日本年金機構など)や銀行協会の職員が、ATMを操作させたり、口座番号や暗証番号、生年月日などを聞きだしたりすることはありません。
- ・心当たりのない請求で不審に思われる場合には、警察や県民生活センターなどの消費生活相談窓口にご相談ください。

フィッシング詐欺(パスワード等の詐取)にご注意ください。

企業の名前を詐称して電子メールを送り付け、添付ファイルや偽のサイトを用意してIDやパスワード等を入力するよう促す事件が発生しております。

当行が、インターネットバンキングサービス・モバイルバンキングサービスのIDやパスワード等について、電子メールで入力を求めること、電話でお伺いすることはございません。

- ・送信元として当行の名称(ドメイン名:@yamanashibank.co.jp)や類似した名称が使われている電子メールを受信され、その内容がID・パスワード・暗証番号・クレジットカード番号等の入力を求めるものであった場合、決して入力なさないようご注意ください。

スパイウェアにご注意ください。

他金融機関において、「スパイウェア」と呼ばれるソフト等によりお客さまのパソコンからパスワード等が不正に取得され、インターネットバンキングにてお客さまの預金口座から不正に振込が行われる事件が発生しております。

- ・スパイウェアは、電子メールやフリーソフトをダウンロードした時に、気付かないままパソコンにインストールされてしまいます。お心当たりのないメールを安易に開くこと、不審なサイトへのアクセスや不審なソフトのダウンロードを行うことのないようご注意ください。

取引時確認のお願い

当行では、口座開設等のお取引にあたり、ご本人であることの確認や取引を行う目的、ご職業などの確認をさせていただいております。

- ・お客さまの大切なご預金をお守りするため、また、犯罪を防止するための確認ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

この印刷物はユニバーサルフォントを使用しています。



平成25年6月発行 山梨中央銀行 経営企画部
〒400-8601 甲府市丸の内一丁目20番8号
TEL 055-233-2111(代)
<http://www.yamanashibank.co.jp/>